

秋の多摩川クリーン作戦を実施します

多摩川を「きれいな、親しまれる川」にすることを目的に、昭和54年から始まった「多摩川クリーン作戦」は、多くの皆さんのおちからにより今回で71回目となります。河川の環境を守り、美化を推進するため、ぜひご参加ください。

日時／平成27年11月8日(日)午前8時～午前9時
※小雨決行・荒天中止・順延なし

集合場所／団体参加：多摩川河川敷の各拠点へ
(のぼり旗で表示)※初参加の団体は事前に環境政策課へご連絡ください。
個人参加：京王相模原線鉄橋下の本部
(事前申込不要)

持ち物／軍手 ※ごみ袋などは市で用意いたします。
その他／動きやすい服装でお越しください。

喫煙マナーアップキャンペーン実施のお知らせ

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」において、たばこの吸い殻等ごみのポイ捨てを禁止するとともに、歩きたばこをしないよう努めることとしています。

こうした迷惑喫煙をなくし、喫煙マナーの向上を図るため、本年度も喫煙マナーアップキャンペーンを実施します。

キャンペーン期間中、市内各駅周辺で、朝の通勤時間帯にあわせ喫煙マナーを呼びかけます。また、駅周辺の事業者、地域の皆さまのご協力を得て清掃活動を実施します。詳細は、市ホームページをご覧ください。

期間／平成27年11月16日(月)～20日(金)
問い合わせ／環境政策課042-481-7087

みんなで歩こう 調布そぞろ歩き ～佐須の田園風景・樹木と古民家を訪ねる～

この地域の田園風景の観察や、古民家で樹木などを見学し、ボランティア解説員などによる解説を聞きます。

日時／10月24日(土)
午前9時30分～正午※荒天中止

集合／図書館佐須分館
講師／石川 和宏氏、戸部 英貞氏ほか(ボランティア解説員)

定員／申し込み順 30人
費用／無料
持ち物／歩きやすい服装・靴、帽子、雨具、飲み物、筆記用具
申し込み／10月20日(火)までに電話で環境政策課(481-7086)へ

多摩川自然情報館まつり2015を開催します

多摩川自然情報館を共管する各施設が連携し、地域の方々と協働で開催します。

日時／11月7日(土)
午前10時～午後3時 ※雨天決行

場所／多摩川自然情報館・染地ふれあいの家・わかば事業所

内容／ゲーム・クラフト体験(ボトルアクアリウムづくりやソーラーランタンづくりなど)、あそびの広場(ゴム金魚すくいなど)、情報館クイズ(景品あり)、いきものプールの生物観察、神代植物公園植物多様性センターによる出展など。
費用／無料(一部有料)

省エネ関連製品の寄附をいただきました

9月11日(金)、「地元への利益還元」として、株式会社ノジマ様から、調布市に対して省エネ関連製品の寄附がありました。

同社は、店舗がある自治体への寄附を実施しており、調布市小島町の商業施設に店舗があることから、例年寄附をいただいております。

今年度はLEDシーリングライト・LEDデスクライト・

シンプル電話機・USB4ポートACチャージャーを寄附いただきました。

ご寄附いただいた製品は、市の施設において使用中の旧式と交換を行うなど、省エネを図ってまいります。



ちょうふ環境にゆ～す

未来へつなぐ調布の環境

●発行：調布市環境部環境政策課
●連絡先：電話：042-481-7086(直通) F A X：042-481-7550
メールアドレス：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。

2015年10月
第26号

刊行物登録番号
2015-147

調布市いきものフォトコンテスト2015 ～感じよう！生物多様性～ 作品募集

調布市では、市内の自然環境の再発見と、生物多様性への理解を深める目的で、毎年調布市いきものフォトコンテストを開催しています。

市内に生息する野生生物が主体となる被写体の写真を募集し、応募作品を調布市多摩川自然情報館で展示し、応募作品の中から投票・専門家の評価により入賞作品を決定します。

また、応募作品の撮影地点から、「2015年調布市いきもの分布情報図」を作成し、市内の生物多様性について応募作品とともに、調布市多摩川自然情報館で展示します。



募集作品

【多摩川部門】
調布市内の多摩川に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)。

【市内部門】
調布市内の多摩川以外に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)。

【スマホ部門】
スマートフォン、携帯電話及び携帯ゲーム機のカメラ機能並びにトイカメラ等で撮影した、調布市全域に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)。

応募条件

平成26年12月以降に調布市内で応募者本人によって撮影された写真で、未発表かつ応募者に全ての権利(著作権)があるもの(1人につき2点まで)。

応募規格

【多摩川部門・市内部門】
・A4サイズまたは6切サイズ

【スマホ部門】
・L判(127mm×89mm)

※各部門ともカラー、モノクロいずれも可。
電子データ(2MBまで)をご持参いただければ多摩川自然情報館で土・日、祝日に印刷可能です。

表彰内容

【多摩川部門・市内部門】
・多摩川自然情報館大賞(各部門1名)
図書券3,000円分、賞状を贈呈
・多摩川自然情報館賞(各部門2名)
図書券1,000円分、賞状を贈呈
・特別賞(各部門3名)
図書券500円分、賞状を贈呈

【スマホ部門】
・作品賞(5名)
図書券500円分、賞状を贈呈

※入賞作品は来館者の投票及び専門家による評価で決定します。平成27年12月20日(日)～平成28年2月20日(土)まで応募作品を調布市多摩川自然情報館内に展示し、来館者に投票(1人2票まで)していただきます。投票用紙は調布市多摩川自然情報館で配布します(応募された作品が募集作品の要件を満たしていない場合は審査対象外)。

募集期間

平成27年11月30日(月)(消印有効)まで
応募方法や作品の取り扱いなど、そのほかの詳細は、市のホームページまたは、環境政策課、調布市多摩川自然情報館で配布している募集要項(応募票つき)でご確認ください。

いきものフォトコンテスト

調布こどもエコクラブの活動

調布こどもエコクラブは、河川や緑地等の自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。市では、市内の小中学生を対象に毎年4月に会員の募

第2回 野菜の収穫体験

7月12日(日)に、市内農業従事者とJAマインズ青壮年部の御協力のもと、29人の子どもたちとその保護者など、計57人で野菜クイズと野菜の収穫体験を行いました。

前半では、佐須ふれあいの家においてJAマインズ青壮年部の皆様による野菜クイズを行い、参加者の皆様に用意した10枚の野菜の花の写真から、その野菜の種類を解答していただきました。

後半では農業従事者の畑地に伺い、実際に、野菜の収

穫を行い、平成27年度は54人の子どもたちが会員として活動しています。

穫を体験しました。農業従事者の解説を受けながらナス、トウモロコシ、ジャガイモを袋いっぱいになるほど収穫しました。



また、収穫後は前半で行ったクイズの答え合わせを行い、高得点の参加者にはJAマインズ青壮年部から景品が贈呈されました。

を忘れるほど熱心に野川のいきものを採取していました。

活動後は、各参加者が採取したいきものについて講師から解説が行われました。

【水辺ガサガサ：主な観察生物】

メダカ、フナ、ウキゴリ、エビ(ヌマエビの一種、スジエビ、テナガエビ)、アメリカザリガニ、ウシガエル(オタマジャクシ)、シジミ

第3回 水辺ガサガサ(野川の生き物調査体験)

7月25日(土)に13人の子どもたちとその保護者など、計27人で第七中学校近隣の野川で水辺ガサガサ(生き物の調査体験)を行いました。

講師から川での活動における注意や網の使い方について解説を受けた後、野川で活動しました。活動中、参加者の皆様は時間の経過



第4回 多摩川下流干潟体験バスツアー

8月16日(日)に9人の子どもたちとその保護者など、計22人で神奈川県川崎市にある大師河原水防センター(通称：干潟館)御協力の下、干潟館近くの干潟で水辺のガサガサを行いました。

バスツアーということで普段とは異なり、市役所から干潟館までをバスを利用して往復しました。施設到着後、施設スタッフから干潟館の水防施設としての機能等を紹介していただきました。

施設紹介後は、干潟での活動についての注意等を聞き、施設近くの干潟で水辺ガサガサを行いました。調布市内を流れる河川では見ることができないいきものを観察することができ、下流とそうでない流域のいきものの生息状況の違いを確認しました。

活動後は昼食をとり、その後、採取したいきものについて参加者からさまざまな質問があり、それぞれに対して、施設スタッフから解説していただきました。



【干潟の水辺ガサガサ：主な観察生物】

クロベンケイガニ、アシハラガニ、ヤマトオサガニ、チゴガニ、ケフサイソガニ、ベンケイガニ(ここまで蟹の仲間)、シロタエビ、マサゴハセ、ヤマトシジミ、ゴカイ(ヤマトゴカイ)、マハゼ、シマハゼ(アカオビシマハゼ)、ギマ、マゴチ、カワウ、マガモ、フジツボ(シロスジフジツボ)、ミスクラゲ(計18種)

環境モニターの活動

環境モニターは、多摩川の植物を中心とした継続観察と記録によって調布の自然を見守り、自然環境の保

全に役立てていこうという、市民主体の環境学習の活動です。

第2回 多摩川の自然観察

6月13日(土)に植物に詳しい講師を招き、日活撮影所近くの多摩川河川敷で自然観察会を行いました。

講師から、「元々外国で生息していた植物が、日本で生息することになったきっかけ」、「ススキとヨシの違い」、「河川土手の斜面は草刈が行われるため、多くの植物が入り込んでくる」などを解説していただきました。

活動後は参加者同士で読み合わせにより観察した植物等の確認を行いました。



<主な観察植物>

ヤブカンゾウ、カラムシ、ネズミムギ、セイトカアワダチソウ、フタナ、ヘラオオバコ、オッタチカタバミ、ネジバナ、チガヤ、ハルガヤ、ムラサキツメクサ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、コウソリナ、マメグンバイナスナ、ハルシャギク、メドハギ、ヤブガラシ、クワイモ、オギ、ヤナギ、カモシグサ、アオカモシグサ、アゲビ、ヨシ、ナガバギシギシ、アレチギシギシ、カキネガラシ、ミスハコベ、オニグルミ、ヒメジョオン、カワラサイコ、シバ、メリケンムグラ、ウシハコベ、カラスムギ、コゴメヤナギ、メリケンガヤツリ、ヒメガマ、タチヤナギ、アレチウリ、アレチハナガサ、オオカワチシャ、ミソソバ、オオブタクサ、コゴメイ、ガガイモ、オオフサモ、エゾノギシギシ、トウネズミモチ、ナワシロイチゴ、ノイバラ、オニウシノケグサ、シナダレスズメガヤ、ミチヤナギ、コセンダングサ、ホテイアオイ、ナヨクサフジ、ユウゲショウ(計59種)

雑木林ボランティア講座の活動

調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民との協働で保全していくため、雑木林ボランティア講座を実施しています。

平成27年度の雑木林ボランティア講座は、9月までに全6回のうち3回を終えました。

秋に行われる講座の活動内容は、次号で紹介します。

第2回 作業の実技と安全管理

7月11日(土)、雑木林で活動を行ううえで必要となる鋸や鎌の正しい使い方、安全に作業を行うための注意事項などの講義・実習を行いました。

実習では、修得した技術を活かし、深大寺自然広場で活動している市民ボランティア団体「カニ山の会」メンバーと草刈りなどの活動を行いました。

ボランティア活動だからこそ安全管理が重要という認識を、多くの受講生が持たれ、活動されていました。



第3回 雑木林の生態系(生き物・昆虫編)

9月19日(土)、雑木林とは一体どんな場所のことなのか、生態系や自然遷移から雑木林について学び、午後のフィールド実習では、深大寺自然広場に生息する生き物・昆虫を観察しました。

講義では、土から樹木・生物までの生き物等の連鎖を学ぶことができました。

フィールドでは、普段見過ごしてしまう昆虫なども見つけることができました。

